

登下校の見守りをしてくださっている

交通安全ボランティアのみなさん

いつもありがとうございます

毎日の登下校の際、子どもたちの安全を見守っていただいている交通指導員さんの他にも、通学路に立ってくださっている「交通ボランティア」の方々がいます。

今回は、今年から交通ボランティアを始めたお二人へのインタビューをご紹介します。



黄色いジャンパーを着た岸田さん、宇川さん、片岡さんの3人が見守ってくださっている桜蘭中近くのセブンイレブン前

宇川智恵子さんのお話

岸田さんに誘ってもらい、自分の健康のために始めました。

始めるまでは旭ヶ丘小学校のお子さんとは関わることがなく不安だったのですが、みんな可愛くて、「おばさん、おばさん。」と声をかけてくれるので、私も元気になります。

片岡文子さんのお話

宇川さんと同じく、岸田さんに誘ってもらい、自分の健康のために始めました。

始めるまでは孫もいないので小学生のお子さんとは関わることがなかったのですが、顔を合わせると頭を下げてあいさつをしてくれたり、気をつけるよう話したことを聞いてくれたり、ただただ可愛いです。

岸田佳枝さんのお話

見守りを始めて5年目になります。今年から片岡さん、宇川さんと一緒に見守りをして、交通量の多い交差点を3人の目で見られるようになりました。

始めたときと比べて、みんなあいさつをよくしてくれるようになり、「危ないよ。」と話したことを素直に受け入れてくれるようになりました。

児童のみなさんへ

コンビニエンスストアの駐^{ちゆうしゃじょう}車^{くるま}場^{でい}は、車^{くるま}の出^で入^いり^{おお}が^{たいへんあぶ}多く大^{おほ}変^{たいへん}危^{あぶ}ないです。^{はし}走^{はし}らずに、^{まわ}周^{まわ}りをよく^み見^{ある}て^{ある}歩^{ある}きましょう。

「地域貢献などではないんです。自分のためにしているんです。」と口をそろえてお話しされていましたが、子どもたちが飛び出さないように目印の黄色いテープを貼ってくれたり、時計を用意してくれたり、服の脱ぎ着を手伝ってくれたり、大変お世話になっています。



あ
かるく
さ
わやかに
ひ
びきあう

地域だより

室蘭市立旭ヶ丘小学校 地域参画部

No.2 令和4年7月 発行